管絃祭～勇壮な平安絵巻～

平清盛が都から伝えたとされる日本三大船神事の一つ、厳島神社の管絃祭が8月4日、厳島神社や対岸の地御前神社周辺の大野瀬戸を舞台に繰り広げられた。

夕方18時ごろ、ご神体を乗せた御座船（ござぶね）は、江波漕伝馬（えばこぎでんま）保存会と阿賀漁協の漕船3隻に引かれ厳島神社を出発し、対岸の地御前神社までの6kmを往復した。

穏やかな瀬戸の波に揺られ、優雅な御座船と、雄々しい漕船とが夕暮れの日を浴びながら、辺り一面は幽玄の世界に包まれた。

世界遺産である厳島神社での最大の神事を見ようと詰めかけた観衆は約1万5千人。陸からだけでなく、海上からもその姿を間近で見ようとする船客から、漕ぎ手の勇ましさに声援や拍手が送られた。

8月3・4日　宮島 管絃祭プロローグ

平清盛 夢の宴

8月4日、旧暦の6月17日に執り行われた「管絃祭」。
その前日からラジオの公開放送や、もみじまんじゅうの食べ比べなどのイベントが行われ、
NHK大河ドラマ「平清盛」で重盛役の窪田正孝さんもステージに登場。
2日間の熱い様子をカメラが追った―。

「神戸・清盛隊」もステージに駆け付けた。歌と踊りだけでなく、軽快なトークに観客は引き込まれた。

「ひろしま清盛美少女隊」は、ステージでPRを行ったほか、その歌声で観客を湧かせた。

熱さを吹き飛ばす力強い演奏でステージを盛り上げた宮島太鼓の皆さん。客席からは大きな拍手が送られた。

宮島もみまんグランプリ

―宮島のもみじまんじゅう食べ比べ―

8月3日、宮島桟橋前広場で行われた「宮島もみまんグランプリ」。

広島を代表する銘菓、もみじ饅頭。島内15店舗がこしあんや、レモン、きな粉、モンブランなど独自の味を提供。味の優劣を決めるのではなく、参加者は試食して「これだ！」と思った一押しのもみじまんじゅうに、アツいメッセージを投票。一番アツくもみじまんじゅうへの愛を言葉にした人がグランプリを手にする。

見事、グランプリに輝いたのは、福岡県から訪れた村上野花さん。「愛してる。福岡から来たかいがあった」と書かれたアツいメッセージが、審査員のひろしま清盛美少女隊の目に止まった。

グランプリ
むらかみ・やか
村上　野花さん

アツいメッセージで、グランプリに輝いた村上野花さん。「うれしいです」とのコメントをいただきました。

島内15店舗のもみじまんじゅうを食べ比べる参加者。

宮島菓子組合　組合長
さかもと・やすひろ
坂本　恭弘さん

「宮島もみまんグランプリ」は、初めての試みでしたが、大盛況でした。もみじまんじゅうは、各店舗で創意工夫され、日々進化しています。100年以上前から続く伝統の味と、新しい味が合わさっていることが皆さんに好かれている理由だと思います。

今では、もみじまんじゅうは全国的に有名になり、どこでも買う事ができますが、宮島に来ていただき、景色や空気を感じながら食べていただくと、よりいっそうおいしく感じてもらえると思います。そして、おみやげとして、宮島での楽しい時間を思い出してもらえればと思います。

これからも、各店舗で新しい味を開発しながら、来島者をお迎えしたいと思っています。

管絃祭・当日イベントに、
NHK大河ドラマ「平清盛」で、
重盛役の窪田正孝さんが来島し、
トークショーを行いました。
宮島の感想や、
大河ドラマでの見どころをお聞きしました。

「平重盛」という人は、見習うべき事がたくさんある大きな人―

宮島は初めてなので、楽しみにしていました。今まで写真でしか見たことのなかった嚴島神社を実際に見て、その迫力に感動し、元気をもらいました。実際に平家一門が歩いた道を歩くことができ、明日からの芝居につなげていきたいと思います。

「重盛」という人物は、人の情に厚く、真面目すぎるくらい正しく清廉潔白な人物です。そして、父の清盛に意見できるのも重盛だけ。歴史の中でもとても重要な存在で、この宮島にも大きな足跡を残し、見習うべき事がたくさんある大きな人だと感じています。

ドラマの中で年齢を重ねる度に、重盛の立場が変わっていきます。教えられる側から、教える側へ変わることや、立ち振る舞いなど、その年齢に応じた役を演じることが求められます。

歴史と同様に、この先ドラマでは、平家一門が巨大なものになり、重盛は若くして都をまかされます。不安を抱え、大きな渦に巻き込まれながらも成長していく重盛。今後登場する場面も多いので、その成長する姿を見ていただけたらと思います。

くぼた・まさたか
窪田　正孝さん

Profile
昭和63年生まれ。24歳。神奈川県出身。ドラマ、映画、舞台で活躍。平成24年1月から放送されているNHK大河ドラマ「平清盛」で清盛の長男「重盛」を演じている。また、8月25日公開の映画「るろうに剣心」にも出演。